

活動案2時目〈タブレット端末〉

「トラブルを解決するための練習をしよう」

※この活動案は、小・中学校共通です。45分で設定しているため、中学校で実践される場合は、適宜調整してご使用ください。

学習活動	教師の働き掛け	留意すること
<p>1. 前時の復習をする。 【2分】</p> <p>《インストラクション》</p> <p>2. めあてを知る。 【3分】</p>	<p><b>【スライド1】</b></p> <p>○今日は、インターネット上のコミュニケーション力を身に付けるための、2時間目の授業を行いたいと思います。</p> <p>○前回の授業の復習をします。1時目の授業は、インターネット上のやり取りで上手な断り方の練習を、断るときのポイントに気を付けながら行いました。前回の授業のワークシートを配っていますので、確認してください。</p> <p><b>【スライド2】</b></p> <p>○人と人とのコミュニケーションにおいて、話す人のどのような情報が聴く人への印象に影響するのか、という学習をしましたが、覚えていますか。</p> <p><b>【スライド3】</b></p> <p>○「メラビアンの法則」でしたね。人がコミュニケーションで受ける相手の印象の割合は、「見た目/表情/しぐさ/視線など」の視覚情報が55%、「声のトーン/声の大きさ/話す速さ/口調など」の聴覚情報が38%、「話の内容など」の言語情報が7%だと言われています。</p> <p>○メールでの話の内容、つまり文字の情報だけでは7%しか伝わらない・・だから、メールで送る場合には、直接会って話をするより、もっと丁寧に伝える必要があるという学習をしたと思います。</p> <p>○前回は「いいよ」のイラストと演技でどんな「いいよ」なのかを考えました。文字だけでは伝わりにくいということを改めて確認してもらいたいと思いますので、次の文章を声に出さず、目だけで読んでください。</p> <p><b>【スライド4】</b></p> <p>○何と読みますか。</p> <p>○まず、1つ目の読み方は「これ、はきものです」そして、2つ目の読み方は「これは、きものです」</p> <p>○言葉だけ見ると、人によって捉え方が違いますよね。</p> <p>○捉え方の違いを更に感じてもらうために、次は連想ゲームをしたいと思います。</p> <p><b>【スライド5】</b></p> <p>○連想ゲームのプリントを準備しましょう。</p> <p>○1問目です。「あ」で始まる2文字の言葉では何を連想しますか。ワークシートに記入しましょう。</p>	<p>・【スライド1】は、授業前に提示しておく。</p> <p>・前時のワークシートを確認するように指示を出す。</p> <p>・文字だけでは相手に伝わりにくいことがあるため、対面でのやり取りと比べ、より丁寧に伝える必要があることを押さえる。</p>

	<p>○周りの人と見せ合しましょう。</p> <p>○2問目です。「かわいい」で思い浮かべるものは何でしょう。ワークシートに記入しましょう。</p> <p>○周りの人と見せ合しましょう。</p> <p>○3問目です。先生は読みませんので、声に出さずに、目だけで読んで答えてください。ワークシートに記入しましょう。</p> <p>○周りの人と見せ合しましょう。</p> <p>○同じ質問でも、それぞれ捉え方や答え方が違いますよね。インターネット上でのやり取りの中では、文字のみの情報だからこそ、捉え方や感じ方の違いによって起こるトラブルも多いと思います。今日は、インターネット上でのやり取りの中で、言葉の捉え違いによるトラブルが起きそうなときに、どのように対応すればよいかを考えていきたいと思っています。</p> <p><b>【スライド6】</b></p> <p>○今日のめあては「トラブルを解決するための練習をしよう」です。</p>	<p>・ 答えの違いがより分かるように、4人程度で見せ合うように指示を出す。</p> <p>・ 回答の違いを比較し、人にはそれぞれ捉え方や感じ方の違いがあることを確認する。</p>
<p><b>【本時のめあて】トラブルを解決するための練習をしよう</b></p>		
	<p>○では、今からAさんとBさんの会話を見せます。声に出さずに、目だけで読みましょう。</p>	
<p>《モデリング》</p> <p>3. モデリングを見て、トラブルにならないためのポイントを知る。</p> <p>①言葉が少ない。</p> <p>②ポイントを使って伝える。</p> <p><b>【4分】</b></p>	<p><b>【スライド7】</b></p> <p>○この後、Bさんがどのように答えたら、トラブルにならないでしょうか。2つの例を見ていきます。</p> <p><b>【スライド8・9】</b></p> <p>○では、1つ目の例です。</p> <p>○では、2つ目の例です。</p> <p><b>【スライド10】</b></p> <p>○①と②ではどちらの展開がよいと感じますか。</p> <p>○②ですね。②のどのようところがよかったのか、周りの人と話をしましょう。</p> <p>○話し合ったことを他の人に紹介してほしいと思います。紹介してくれる人はいますか。</p> <p><b>【スライド11】</b></p> <p>○トラブルを解決するためのポイントを確認します。</p>	<p>・ ②のどのようところがよかったのか、気付きを出させながらトラブルを解決するためのポイントを押さえる。</p> <p>・ ポイントを伝えながら、メール文のどの部分に当た</p>

<p>《リハーサル》</p> <p>4. ポイントに気を付けながら練習①をする。 【8分】</p> <p>《フィードバック》</p> <p>5. ペアでできたポイントやよかったところを伝え合う。 【2分】</p> <p>6. 読んだときの気持ちを伝え合う。 【2分】</p>	<p>①言葉の意味を正しく伝える ②相手の気持ちを想像して伝える ③前向きな提案をする</p> <p>○今日はBさんの立場で、この3つのポイントに気を付けながら返信する練習をしていきたいと思います。</p> <p>【スライド12】</p> <p>○練習をするときの約束事があります。</p> <p>・はずかしがらない ・冷やかさない ・よいところを見付ける</p> <p>○この3つの約束を守って練習をしましょう。</p> <p>【スライド13】</p> <p>○練習は、ペアで2回行います。</p> <p>○では、1回目を練習する前に練習の内容を説明します。</p> <p>○まず、やり取りを確認します。前の電子黒板に書かれた内容になります。</p> <p>○次に、返信する言葉を考えて書きます。</p> <p>○3つのポイントに気を付けて書きましょう。全員が書き終わったら、一斉に送信します。書き終わっていても合図をするまでは待っておいってください。</p> <p>【スライド14】</p> <p>○3つのポイントと例を示しています。考えることが難しい場合は、参考にしてください。</p> <p>○改行するには、シフトキーを押しながらエンターキーを押します。</p> <p>【スライド15】</p> <p>○では、みんなで一斉に送信します。</p> <p>○送られてきたメールを読んでください。</p> <p>【スライド16】</p> <p>○メールを読んで、できていたポイントやよかったところを「ニコマーク」を使って伝えましょう。ポイントのうち1つか2つできていれば「ニコマーク」、3つできていれば「ニコニコマーク」を挙げましょう。</p> <p>○また、メールを読んだときの気持ちや書いたときの気持ちを伝え合いましょう。よかったところだけではなく、気になったところ、気を付けた方がよいと感じたところも伝え合いましょう。</p>	<p>るのかを示す。</p> <p>・実際にできるようになるには、約束を守って練習することが大事であることを伝える。</p> <p>・どのポイントが上手にできていたのかを伝えるように指示を出す。</p> <p>・フィードバックはよかったところだけではなく、気になったところ、気を付けた方がよいと感じたところ、代替案など</p>
---	---	---

<p>7. 練習①を振り返り、学級で共有する。 【2分】</p> <p>8. 頑張りたいポイントを決め、見付けたポイントを書く。 【2分】</p> <p>《リハーサル》</p> <p>9. ポイントを使って練習②をする。 【8分】</p> <p>《フィードバック》</p> <p>10. ペアでよかったところや読んだときの気持ちを伝え合う。【3分】</p> <p>11. 練習②を振り返り、学級で共有する。 【2分】</p>	<p><b>【スライド 17】</b> ○ワークシートを準備しましょう。 ○ワークシートの自分ができたポイントに○(丸)を付けましょう。 ○ペアの人のメールを紹介してほしいと思います。紹介してくれる人はいますか。</p> <p><b>【スライド 18】</b> ○2回目に頑張りたいポイントに○(丸)を付けましょう。 ○自分で見付けたポイントや他の人の発表を聞いて参考になったポイントがあれば、書きましょう。</p> <p><b>【スライド 19】</b> ○では、2回目の練習を始めます。 ○まず、やり取りを確認します。前の電子黒板に書かれた内容になります。 ○次に、返信する言葉を考えて書きます。 ○3つのポイントに気を付けて書きましょう。全員が書き終わったら、一斉に送信します。書き終わっていても合図をするまでは待っておいください。 ○みんなで一斉に「送信」します。 ○送られてきたメールを読んでください。</p> <p><b>【スライド 20】</b> ○メールを読んで、できていたポイントやよかったところを「ニコマーク」を使って伝えましょう。ポイントのうち1つか2つできていれば「ニコマーク」、3つできていれば「ニコニコマーク」を挙げましょう。 ○また、メールを読んだときの気持ちを伝えましょう。よかったところだけではなく、気になったところ、気を付けた方がよいと感じたところも伝え合いましょう。</p> <p><b>【スライド 21】</b> ○自分ができたポイントに○(丸)を付けましょう。 ○ペアの人のメールを紹介してほしいと思います。紹介してくれる人はいますか。</p>	<p>も伝えるように指示を出す。</p> <p>・どのポイントが上手にできていたのかを伝えるように指示を出す。 ・フィードバックはよかったところだけではなく、気になったところ、気を付けた方がよいと感じたところ、代替案なども伝えるように指示を出す。</p>
--	---	---

<p>12. 学習のまとめをする。 【7分】</p>	<p>【スライド 22】 ○今日学習したことを振り返ります。振り返りシートに記入してください。</p> <p>【スライド 23】 ○感想を発表してほしいと思います。発表してくれる人はいますか。</p> <p>○2時間授業をしてきました。SNSなどのインターネット上でのやり取りの中でもよりよい人間関係を築くことができれば、直接会って話をする時間も充実したものになりますね。相手も自分も気持ちよく過ごし、よりよい人間関係を築くことができるように、授業で学んだことや感じたことを役立ててほしいと思います。</p>	<p>・感想を紹介し、ポイントを使って伝えるよさを確認する。</p>
--------------------------------	--	------------------------------------

◆授業後の取組

○チャレンジ週間の設定

学習したスキルが日常生活にも活用できるように、チャレンジ週間を設け、学習後3～5日間集中的に働き掛けます。チャレンジ週間では、次のような取組が考えられます。

- ・チャレンジシートを用いて、練習に取り組みせ、学習を振り返らせる
- ・授業の感想を、数日に分けて紹介する
- ・学級通信などを活用し、家庭でも取り組むように働き掛ける など

板書計画（2時目）

**インストラクション**  
(めあてを知る)

**モデリング**  
(見本を観察する)

**リハーサル**  
(繰り返し練習)

**練習のやくそく**

はずかしがらない  
冷やかさない  
よいところを見付ける

**ふりかえり**  
(ふりかえりシートに書く)

**【めあて】トラブルを解決するための練習をしよう**

トラブルを解決するためのポイント

★言葉の意味を正しく伝える


★相手の気持ちを想像して伝える

★前向きな提案をする

※児童生徒から出たポイントを書く


1 やり取りを確認。
2 言葉を考えて書く。
3 みんなで「送信」
4 ポイントがいくつできたかチェック。
5 よいところなどを伝え合う。
6 ふりかえりをする。

ニコマーク



1つか2つ  
できた

ニコニコマーク



3つできた

※見通しをもつことができるように1時間の流れを示し、矢印で進捗を示します。

※ポイントは1つずつ提示します。児童生徒から出たポイントは下方に板書します。

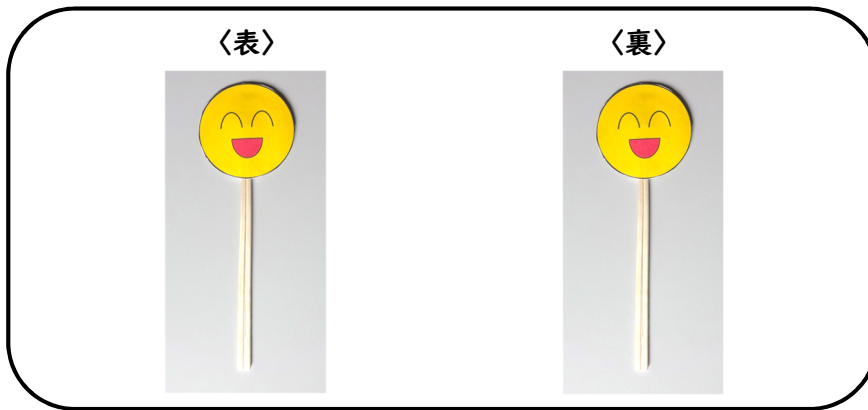
※練習の手順を提示し、矢印で進捗を示します。ポイントをチェックする参考に、ニコマークも掲示します。

◆本時の授業に必要なもの

- ニコマーク、ニコニコマークの札各1本 ※作成の方法は後方に示しています。
- タブレット端末

【ニコマーク&ニコニコマーク】

※それぞれの表情を厚紙に印刷し、同じ表情の間に割り箸を挟んで作成します。



※原寸大

〈ニコマーク 表〉



〈ニコマーク 裏〉



〈ニコニコマーク 表〉



〈ニコニコマーク 裏〉

